

株式会社山一鋳工所  
**山本 政博さん**  
Yamamoto Masahiro

Profile

能美市生まれ。小松工業高校機械科出身。石川高等職業訓練校で1年間学んだ後、山一鋳工所で板金職人の道に。2011(平成23)年に代表に就いた。建築板金職人として数々の賞に輝いており、24(令和6)年には「現代の名工」に認定。石川の伝統工芸・加賀象嵌の担い手としても活躍中。



株式会社山一鋳工所(能美市)

現在、代表取締役を務める山本政博さんの祖父の代に創業し、2021(令和3)年に株式会社化。地元能美市を拠点に、住宅の建築板金をはじめ、店舗や工場、公共施設などを幅広く手がける。長年にわたって金沢城公園の復元整備にも尽力。鉛板の鬼瓦制作などを手がけた。【所在地】能美市大成町里32-1【資本金】300万円【代表】山本政博



レジェンドの金言

どんな仕事も“用意周到”に  
加賀象嵌の師である加澤美照先生に指摘された言葉です。道具一つでも不具合があれば、いい作品はできません。それは仕事も同じこと。何事も、きちんと準備することが大切です。



”現代の名工“になつても変わらない。  
職人同士で高め合い、成長していきたい。



息子の達也さんも同じ板金職人に。「父であり、師匠。仕事は本当に丁寧で、まだ見習うことばかりです」(達也さん)



たたいて成型する鍛金技術も一級品。脚を付けたり、滑らかなRを作ったりと、一枚の板から複雑な形を生み出します



初めて金沢城公園の復元整備に携わったころの山本さん。このときの経験が職人としてのさらなるステップアップにつながりました



2023年には、金沢城公園の三十間長屋に用いる幅2メートル、高さ1.2メートルの大鬼を、達也さんとともに制作しました

業界を引っ張るトップランナー  
建築板金の最前線で活躍中

「ものづくり日本大賞」(2015(平成27)年)や石川県卓越技能者表彰「百万石の名工」(2023(令和5)年)などに輝き、(2024(令和6)年)には極めて優れた技能を持つ「現代の名工」に選ばれました。この道に足を踏み込んで45年、山本政博さんは県内だけでなく、全国の建築板金を技術でリードしています。今でも息子の達也さんと毎日、さまざまな現場に足を運んでおり、培ってきた職人技を最前線で発揮し続けています。

まさしく業界のトップランナー。それだけに仕事場ではもっぱら指導役に徹しているのかと思い、尋ねてみると山本さんは首を横に振ります。「そんなことはないですよ。建築板金は奥が深い。板金の種類によって扱い方も変われば、完成までのアプローチも人によって違います。技術もどんどん進化していく

ます。『あつ、いいな』と思ったら、若い職人に教えてもらうこともよっしちゅうです。建築板金では職人が集まって協力して臨む現場が多く、学び合える環境が自然と築かれています。この世界に飛び込んだ19歳のときも、名工と呼ばれる今も変わりません。年齢・立場の垣根を越え、山本さんは現場で腕を磨き続けているのです。

金沢城公園復元工事を担当  
“平成の築城”が技をつなぐ場に

新たな技を積極的に吸収しながら、山本さんは職人の道を歩んできました。数々の仕事を請け負ってきた中でも忘れられないのが、金沢城公園の復元整備です。最初に手がけたのは、2001(平成13)年の一般開放に向けて整備された五十間長屋で用いる「懸魚」の制作でした。懸魚は棟木や桁を隠す装飾のこと。当時40代前半で、さまざまな現場仕事を担ってきた

山本さんでも初めて受け持つ依頼だったと言います。

「懸魚は形が複雑で細かく、どう作っていけばいいか悩みました。このとき、大きな助けになったのが先輩たちです。

復元整備にあたって県内から集まつた職人の中には、第二次世界大戦で日本軍が使う飛行機の機体を製造するなど、高い技術を持ったレジェンドが数多く、「平成の築城」は板金の技を次代に受け継ぐうえで貴重な場になりました。その後も、山本さんは橋爪門続櫓や河北門の復元整備に協力。先人から学んだ技を発揮し、石川の文化を未来につなげています。

「手仕事に集中」が共通点  
32歳で加賀象嵌の道へ

山本さんは、職人としてもう一つの顔があります。それは伝統工芸・加賀象嵌の職人です。32歳のときに始め、キャリアはかれこれ30年以上を数えます。「あくまでも趣味」という

ものの、その腕前は毎年展示会を開くほどで、現在は加賀象嵌伝承研究会会長も務めています。

「板金も、加賀象嵌も、手仕事に集中できるという点は同じ。その世界にのめり込んでいます」と笑う山本さん。若手にもぜひ、そんな魅力ある職人の道を志してほしいと願っており、世代を超えて刺激し合う中で、自分自身も一層の高みを目指していきたいと考えています。



仕事を終えた後や休日は加賀象嵌職人に。繊細なタッチで表面を塗(たがね)で彫り、細かな模様や絵柄を描きます